

うとしたのである。

それに対し總同盟を一般労働階級の機關たらしむる可く此種案を除き以て青  
島労働組合運動の、前衛たる名譽と責任を保持せんとした吾々の政策は、彼等  
幹部の腐敗政策と衝突し、彼等は吾々に對する凡ゆる輕侮と中傷を以て、一般  
組合員を傷つけ遂に今日の分裂に至らしめたのである。  
創立以來十四年の歴史を有し多年労働組合運動の曲衛たりし總同盟が分裂し  
た事は、確に吾労働組合運動にたい一線を劃するものである。  
吾々は此劃時代的事件の當事者たる責任を、へ後に於て充分果さなければなら  
ない。それは吾々が、此宣言の主旨を充分存みこんでその貫徹に専心努力す  
る事に外ならぬ。

大正十四年六月十五日

日本労働組合評議會

教育出版部編

### 日本労働總同盟の分裂と日本労働組合評議會の創立

日本に於ける組合運動の中心勢力と目せられ、その指導的機能を代表して日本労働總同盟は労働組合員協会の分  
裂政策のために、今や事實上廢絶したものである。

(1)  
日本労働總同盟の一時に根を張つた官僚階級は、幾多の先驅者と協友との犠牲によつて築かれた労働階級の  
闘争の機關を、彼等の腐敗な私心野望を満足せしめる道具に變化した。彼等は此腐敗職に墮落し、その毒手  
を延べ到る所に朋黨を作り、總同盟の全組織に、彼等の勢力網を張り詰めた。そして初くも彼等の關係に與せ  
ぬ健全分子は、あくまで之を壓迫し、あくまで之を排除した。定見と節操のない是等の日和見主義者は、資本  
の攻勢と反動主義の勃興に當面するや、總て年來の階級闘争の主張を棄て、一偏にブルジョア主義と資本代  
りに、方向轉換の精神を曲解して、現存立脚の現名の下に労働階級の主張を棄らんとした。組合運動の全國統一を唱へつ  
つ、彼等は閉鎖な組合利己心を満足せしめるために、却つて其機運を妨害した。言葉の上では産業組合主義を唱へつ  
した。無産階級組織の促進が當面の必要であり、全無産階級の要求である時に、之にサボターザしたものは實に  
彼等である。